



報道発表資料の配付日時 10月11日(火) 13時00分

発表項目 (行事名)	「第10回まちづくりメイヤーズフォーラム」の開催について テーマ：ゼロカーボンなまちづくりを目指して		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>1 日時 令和4年11月15日(火) 14時00分～17時00分</p> <p>2 場所 札幌ビューホテル大通公園 地下2階 ピアリッジホール (札幌市中央区大通西8丁目)</p> <p>※ 会場とオンライン(Zoom)の併用開催</p> <p>3 主催 北海道、一般財団法人北海道建設技術センター</p> <p>4 共催 北海道大学大学院工学研究院</p> <p>5 参加料等 無料 定員300名(会場)</p> <p>6 次第</p> <p>① 基調講演「強みを活かした地域づくり ポストコロナ時代を見据えて」 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 理事長 小高 咲 氏</p> <p>② 特別講演「ひとつのまちに拘らないデュアルライフの勧め」 株式会社クリエイティブオフィスキュー 鈴井 貴之 氏</p> <p>③ パネルディスカッション ～ゼロカーボンなまちづくりを目指して～</p> <p>○ まちづくり事例紹介－伊達市、鹿追町－ 「デジタル時代の移住のすすめ」 伊達市長 菊谷 秀吉 氏 「鹿追町が目指すゼロカーボンシティ」鹿追町長 喜井 知己 氏</p> <p>○ 「北の住まいるタウン」の目指す姿 北海道大学大学院 工学研究院長・工学院院长・工学部長・教授 瀬戸口 剛 氏</p> <p>○ 瀬戸口 剛氏をコーディネーターとするパネルディスカッション</p> <p>※詳細は別添チラシのとおり ※参加登録サイト：https://sites3.net-convention.com/mayorsforum2022/ ※本フォーラムは土木学会及び北海道建築士会認定CPDプログラムです</p>		
参考	<p>「北の住まいるタウン」とは 人口減少・高齢化が急速に進む北海道において、「コンパクトなまちづくり」 「脱炭素化・資源循環」「暮らしやすさの向上」の取組を一体的に進め、目指す持続可能なまちづくりの姿。</p>		
報道(取材)に当たって	多くの方に参加いただきたいため、積極的な報道をお願いします。		
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		
担当 (連絡先)	建設部建設政策局建設政策課 課長補佐 大久保 圭介 TEL 011-231-4111 (内線29-804) 直通 011-204-5284		



北の住まいるタウン 第10回

土木学会認定CPDプログラム
北海道建築士会認定CPDプログラム

まちづくりメイヤーズフォーラム

テーマ：ゼロカーボンなまちづくりを目指して
～ひと、資源・エネルギー、経済が交流・循環して活性化するまち～

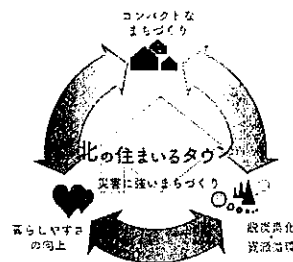
日時：2022 **11.15** 火 14:00▶17:00 (13:20 開場)

会場とオンライン(Zoom)の併用開催
参加無料 定員300人(会場)

会場：札幌ビューホテル大通公園 地下2階 ピアリッジホール (札幌市中央区大通西8丁目)

北海道では、人口減少・少子高齢化や広域分散型の都市構造などの課題に対し、北海道の優位性を活かし、地域特性に応じて、誰もが心豊かに住み続けることができる、安全・安心で暮らしやすく、資源・エネルギー循環が進んだ効率的なまち「北の住まいるタウン」の実現に向け取り組んでいます。また、気候変動問題の解決と世界に誇る北海道の創造に向け、脱炭素化と経済の活性化や持続可能な地域づくりを同時に進め、「ゼロカーボン北海道」の実現に向けてオール北海道で取り組んでいます。

このフォーラムでは、昨今の急激な社会情勢や自然環境の変化などを踏まえ、ひと、資源・エネルギー、経済の交流・循環により、脱炭素化の取組が促進され、地域が活性化するまちづくりについて、道内の先進的な事例などを参考にしながらディスカッションを行います。



基調講演

強みを活かした地域づくり
ポストコロナ時代を
見据えて



地方独立行政法人
北海道立総合研究機構

理事長 小高 咲 氏

特別講演

ひとつのまちに拘らない
デュアルライフの勧め



株式会社
クリエイティブオフィスキュー
鈴木 貴之 氏

パネルディスカッション「ゼロカーボンなまちづくりを目指して」

■ パネリスト 小高氏、鈴木氏、菊谷氏、喜井氏

■ コーディネーター 瀬戸口氏

■ 事例紹介 1 - 伊達市 -

デジタル時代の
移住のすすめ

伊達市長 菊谷 秀吉 氏



■ 事例紹介 2 - 鹿追町 -

鹿追町が目指す
ゼロカーボンシティ

鹿追町長 喜井 知己 氏



■ 「北の住まいるタウン」の目指す姿

北海道大学大学院
工学研究院長・工学院院长・工学部長・教授 瀬戸口 剛 氏



【申込/問い合わせ先】

北海道 建設部 建設政策局 建設政策課
担当：内山 電話：011-204-5284

【FAX】 011-232-1147 (会場参加申込用)

【URL】 <https://sites3.net-convention.com/mayorsforum2022/>

申込フォーム



主催：北海道、一般財団法人北海道建設技術センター

共催：北海道大学大学院 工学研究院

後援：国土交通省北海道開発局、北海道市長会、北海道町村会、

公益社団法人日本都市計画学会北海道支部 地方独立行政法人北海道立総合研究機構



北海道



第10回

まちづくりメイヤーズフォーラム

ゼロカーボンなまちづくりを目指して

～ひと、資源・エネルギー、経済が交流・循環して活性化するまち～

プログラム

- 14:00 開会挨拶
- 14:05 基調講演 (30分)

「強みを活かした地域づくり
ーポストコロナ時代を見据えて」
- 14:35 特別講演 (30分)

「ひとつのまちに拘らない
デュアルライフの勧め」
- 15:05 休憩 (5分)
- 15:10 これまでのフォーラムを振り返って(5分)
- 15:15 パネルディスカッション (100分)

「ゼロカーボンなまちづくりを目指して」
- 16:55 閉会挨拶



北の住みいるタウン

申込・参加方法 申込締切: 11月8日(火)

会場参加

- ①申込サイト、またはFAX(本チラシの下記申込書をご利用ください)にてお申込みください。[先着300人]
- ②当日会場へお越しください。

オンライン参加

- ①申込サイトからお申込みください。
- ②ご登録メールアドレスへ接続IDを連絡しますので、当日までにZoomの視聴環境をご準備ください。
- ③当日Zoomから、接続IDを入力してご参加ください。

【申込/問い合わせ先】
 北海道建設部建設政策局建設政策課
 担当: 内山 電話: 011-204-5284
【FAX】 011-232-1147 (会場参加のみ)
【URL】 <https://sites3.net-convention.com/mayorsforum2022/>



申込フォーム

- 土木学会CPD単位登録申請を希望される方へ
受講後、フォーラムにて得られた所見(学びや気づき)を100文字以上でまとめ、主催者へ提出してください。[2.7単位取得]
 - 北海道建築士会CPD単位登録申請を希望される方へ
当日会場で建築士会CPD番号(または建築士番号等)を確認させていただきます。[3.0単位取得]
- ※他団体に提出する場合の方法については、各提出先の団体に事前にご確認ください。

登壇者のご紹介

小高 咲 氏 (北海道立総合研究機構 理事長)
 1986年東京大学法学部卒業。同年日本銀行に入行。札幌支店長を最後に2020年に日本銀行を退職。(株)北海道二十一世紀総合研究所を経て2022年4月から現職。道総研は、農業・水産・森林・産業技術・エネルギー・環境・地質及び建築・まちづくりといった幅広い分野での総合力を強みとする公設の試験研究機関であり、地域社会の維持・発展、北海道の未来づくりに貢献すべく、「食」「エネルギー」「地域」をキーワードに様々な研究に取り組んでいる。

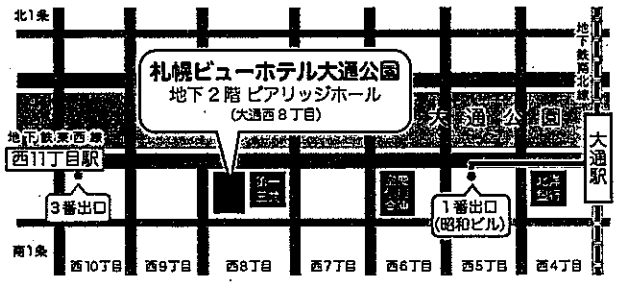
鈴井 貴之 氏 (株式会社クリエイティブオフィスキュー)
 赤平市出身。大学在籍中に演劇の世界に入り、1990年に劇団「OOPARTS」を結成。劇団解散後は、タレント・構成作家としてHTB「水曜どうでしょう」などの数々の番組の企画・出演に携わる。2001年より映画監督としても活動を開始。現在までに4作のメガホンを執る。2015年には自身初の連続ドラマ脚本・監督を務めた。作家としても活動。2010年、「OOPARTS」再始動。2021年までに6作の舞台公演を上演。表現の枠にとらわれない作品を生み出している。そらち応援大使(18~)北海道コンサドーレ札幌オフィシャルサポーター(21~)、NHK札幌放送局「北海道道」出演(20~)など、地域振興にも関わっている。

菊谷 秀吉 氏 (伊達市長)
 1973年国際商科大学卒業。(株)勝田組・道達コンサルタント(株)を経て、1983年から伊達市議会議員を3期務め、1999年に伊達市長就任。「ウェルシールド構想」を策定し移住定住政策を推進。多様な世代が住み続けたいまちづくりに取り組む。2019年からワインの産地化を目指し、醸造用ブドウの試験栽培を行い、2022年7月に第1号の「スガークリソングワイン」が完成。現在は、善幹産業である農業分野においてICTを活用したスマート農業やカーボンニュートラルの取組を進め、新たな営農モデルの確立と持続可能な農業を目指している。

喜井 知己 氏 (鹿追町長)
 1980年鹿追町役場入庁。さまざまな職務を経て、2019年鹿追町長就任。昨年3月に「鹿追型ゼロカーボンシティ」を宣言し、多様なエネルギーの循環とレジリエンス強化、環境価値の向上による地方創生モデルを提唱し、今年4月に環境省脱炭素先行地域の選定を受ける。地域資源を最大活用するバイオガスプラントを核とした「地域資源循環型社会」を構築。また「十勝晴れ」を生かした太陽光等の再生可能エネルギーの積極活用や自家線による小規模電力網を構築し、カーボンニュートラルの先、「カーボンビジネス」を追求し、持続可能な地域環境の確立を図っている。

瀬戸口 剛 氏 (北海道大学大学院 工学研究院長・工学院院长・工学部長・教授)
 早稲田大学理工学研究科博士課程修了。博士(工学)。北海道大学工学部建築工学科助手、同助教授を経て2010年より現職。副工学研究院長を経て2019年度より工学研究院長・工学院院长・工学部長。国土交通大臣表彰 国土技術開発賞(2016年)、文部科学大臣表彰 科学技術賞(2015年)、日本建築学会賞受賞(2014年)。専門は都市・地域計画。雪や寒さを考慮した積雪寒冷地域の都市デザインや、夕張市をはじめとする集約型コンパクトシティなどに取り組む。「北の住みいるタウン」検討協議会の座長も務めている。

Map 地下鉄「大通駅」1番出口から徒歩5分、「西11丁目駅」3番出口から徒歩3分



CPD申請を希望される方は、希望する団体(土木学会・北海道建築士会)をOで囲んでください▼

FAX申込書	所属名・職名	氏名	電話番号	CPD申請
				土木 建築
				土木 建築
				土木 建築

---新型コロナ感染症対策について(来場の方へ)--- ●開催に当たっては、新型コロナウィルス感染症対策を万全に実施します。●座席は間隔を空けて配置し、ステージと客席の距離を十分確保します。●会場入口で手指消毒をお願いします。●マスク着用をお願いします。●当日受付での検温により、37.5度以上の発熱のある方は入場をお断りします。